

-----9月10日-----

2018年

※ 今週のアウトルック (9/10~9/14)

先週はトランプ大統領の日本への貿易不均衡発言などを受けて、木曜日には円高が一気に進みました。

その後、金曜日に発表された米国雇用統計は良好な結果となり、ドルはある程度買い戻されましたが、クロス円を中心とした円高は止まっています。

今週は、米国雇用統計の良好な結果とトランプ発言による円高の流れがどのような展開を見せるのか、まずは週明けの東京市場に注目が集まりそうです。

先週のドル円は、米国雇用統計の良好な結果を受けて、金曜日こそある程度持ち直して週末を迎えています。一時は110円台前半まで下落していました。

今週は、トランプ発言による円高の流れと、雇用統計の良好な結果によるドル買いの流れの綱引きが、どのような結果となるかが注目されますが、しばらくは110円から111.5円付近のレンジ内の動きとなる可能性が強いように思います。

ドル円の予想レンジは110円から111.5円です。

ユーロ円は先週、130円付近のレジスタンスブレイクに失敗し、128円付近まで下落してそのまま週末を迎えています。

今週は、ファンダメンタルズ的にもやや円高の流れが強く、テクニカル的には128円を割りこんでしまうと、125円付近まで下落する可能性がかなり高くなるように思います。

ユーロ円の予想レンジは125円から130円です。

ポンド円は143円付近のサポートラインで、なんとか小康状態を保っているようですが、いずれは143円以下か、145円以上に向かう事となりそうです。可能性としては143円以下に向かう可能性が高いように思います。

ポンド円の予想レンジは139円から145円です。

トルコリラ円は、16円以下へブレイクすることができず、やや買い戻しが優勢となっています。19円付近まで戻す可能性はありますが、要注意な状況には変化はないように思います。

免責事項

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。